取付説明書

INAX

洗面化粧台
LBシリーズ

LBE-754S(P),750S(P)
LBE-604S(P),600S(P),602S(P),603S(P)
LBE-500S(P),502S(P),503S(P)
LBFA-755SS(P),754S(P)
LBFA-605SS(P),604S(P)
LBFT·LBPT-750(1)S(P),754(1)S(P),755S(1)S(P)
LBFT·LBPT-600(1)S(P),604(1)S(P),605S(1)S(P)
LBFC-500S(P),503S(P),504S(1)
LBP-502(A)S(P),503(A)S(P)

1. 取付前の注意

●取付けに際しては必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証をいたしかねますので、十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●取付業者さまは、商品の欠陥を生じさせる可能性などを有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。
【BL認定品ユニットの場合】
●当社の定める取付要領を逸脱しない据付けに不具合（瑕疵）が生じ、取付者が無償修理や損害補償を行った場合、BL証紙の貼付け（または刻印等）がされている場合については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
●BL保険制度や当住宅部品の取付要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.cbl.or.jp/）をご覧ください。
なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング（TEL03-5211-0559）でもお受け致します。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けしてください。

用語および記号の説明

警告·····「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意·····「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ ·····「注意しなさい!」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠ ·····「してはいけません!」（一般的な禁止記号です。）
·····「分解してはいけません!」
❗ ·····「指示通りにしなさい!」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●電気·水道工事は関連する法令·規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
※火災や漏電、漏水を引き起こす恐れがあります。
●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理·改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

お願い

●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は設置しないでください。
※不陸があるまま設置するとキャビネットがひずむ場合があります。
●洗面器表面は傷付きやすいので次の点について注意して取付けを行ってください。
·キャビネットや工具などの固い物を洗面器上に落としたり、乗せてひきずったりしない。
·洗面器上に乗らない。
※洗面器に傷が付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体をふかないでください。
※変色や変形の恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤·接着剤·洗剤·その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。
人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

⚠ 注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁など）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●温水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。
●電源プラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●電源は必ず専用のコンセントからお取りくださ い。また、コード部分を束ねたまま使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。
●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐ったり、漏電や感電の恐れがあります。

2. 付属部品

■LBFC·LBFT·LBPTシリーズ

品番	間口500mm	—	LBFC-504S(P)	LBFC-500S(P)	LBFC-503S(P)
	間口600mm	LBFT·LBPT-605S(1)S(P)	LBFT·LBPT-604(1)S(P)	LBFT·LBPT-600(1)S(P)	—
	間口750mm	LBFT·LBPT-755S(1)S(P)	LBFT·LBPT-754(1)S(P)	LBFT·LBPT-750(1)S(P)	—
水栓金具		洗髪シャワー水栓 (1)付き品番:SF-500S-MB　1セット (1)なし品番:SF-74S-MB/N88　1セット	シングルレバー混合水栓 LF-B355S-MB3　1セット	シングルレバー混合水栓 LF-4275A-MB4　1セット	立水栓 LF-1(95)-RU-MB2　1セット
フレキ管(F-350)		—	2本	2本	1本
鎖付きゴム栓(ギボシ付)		1セット	—	—	1セット
排水トラップ		S仕様:LF-222SA-MB3 P仕様:LF-222PA			
止水栓		ストレート形止水栓 LF-3J-13.DP　2個			ストレート形止水栓 LF-3J-13.DP　1個
ヘアーキャッチャー		1個			
ホースガイド		2個	—	—	—
水受けタンク		1個	—	—	—
給水管固定金具(LF-222B)		LBFT·LBPTの(1)なし品番のみ　2個			
排水プレート		1個			
排水アダプター		1個			
壁固定ねじ		座金付きなべ　φ6.0×50mm　2本			
取扱説明書·取付説明書		各1部			

■LBE·LBFAシリーズ

品番	間口500mm	—	LBE-500S(P)	LBE-502S(P)	LBE-503S(P)	LBP-502AS(P)	LBP-503AS(P)
	間口600mm	LBE·LBFA-604S(P)	LBE·LBFA-600S(P)	LBE-602S(P)	LBE-603S(P)	—	—
	間口750mm	LBE·LBFA-754S(P)	LBE·LBFA-750S(P)	—	—	—	—
水栓金具		シングルレバー混合水栓 LBE:LF-B355SJ　1セット LBFA:LF-B355S-MB2　1セット	シングルレバー混合水栓 LBE:LF-275A-G　1セット LBFA:LF-275A-G-MB2　1セット	立水栓 水側:LF-1RA　1セット 湯側:LF-1JH　1セット	立水栓 水側:LF-1RA　1セット	立水栓 水側:LF-1RA　1セット 湯側:LF-1JH　1セット	立水栓 水側:LF-1RA　1セット
鎖付きゴム栓(ギボシ付)		—	—	1セット	1セット	1セット	1セット
排水トラップ		S仕様:LF-222SA-MB3 P仕様:LF-222PA					
止水栓		ストレート形止水栓 給水側:LF-3J(80)-19　1個 給湯側:LF-3J(80)-13H(1P)　1個			ストレート形止水栓 給水側:LF-3J(80)-19　1個	ストレート形止水栓 給水側:LF-3J-19　1個 給湯側:LF-3J-13H　1個	ストレート形止水栓 給水側:LF-3J-19　1個
ヘアーキャッチャー		1個	1個	1個	1個	—	—
給水管固定金具(LF-222B)		2個	2個	2個	1個	2個	1個
排水プレート		1個	1個	1個	1個	—	—
H型パッキン		—	—	—	—	P仕様のみ　1個	
排水アダプター		1個					
壁固定ねじ		座金付きなべ　φ6.0×50mm　2本					
取扱説明書·取付説明書		各1部					

株式会社 LIXIL
お客さま相談センター商品相談窓口　ナビダイヤル　0570-01-7173　平日「9:00～18:00」対応
土日・祝日「9:00～17:00」対応（ゴールデンウィーク・年末年始・夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などはご利用できません。0562-31-0793をご利用ください。

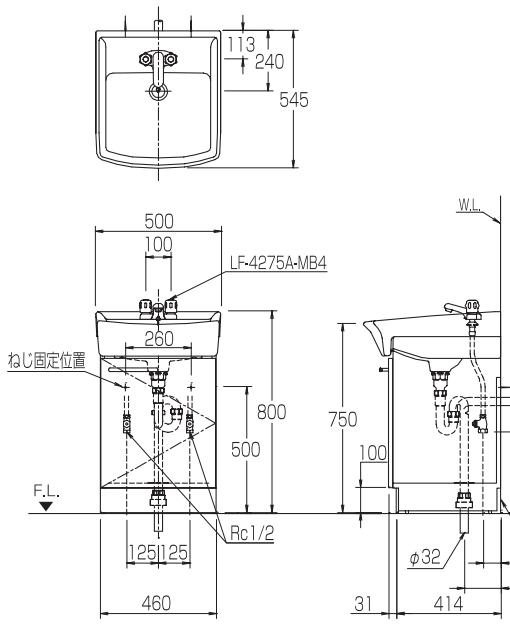
PMB-0763(11040)

3. 寸法図

※図は標準仕様の寸法です。特注対応では寸法や仕様が異なる場合があります。
事前に現場図面でご確認ください。

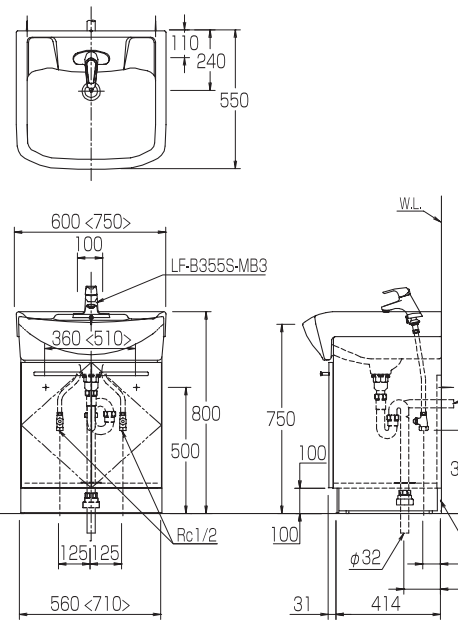
LBFCシリーズ

※図はLBFC-500
給排水位置はLBFC-503･504も同じ位置です。



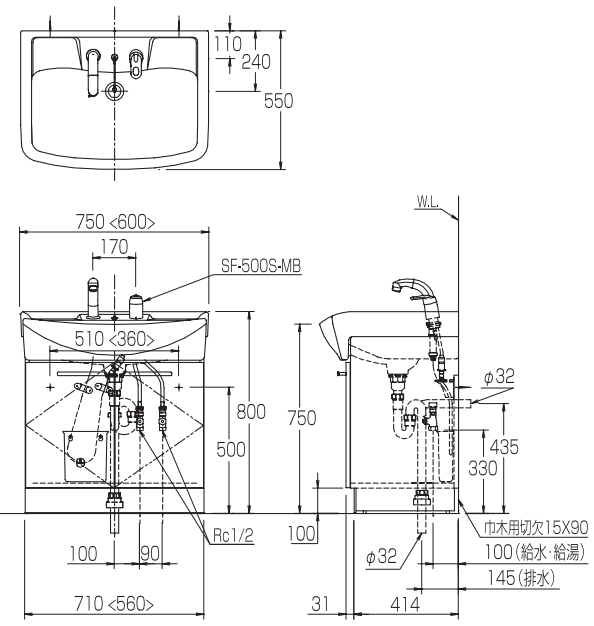
LBFTシリーズ(洗髪シャワー水栓以外)

※図はLBFT-604
給排水位置はLBFT-600･750･754も同じ位置です。
※< >は間口750mmの場合の寸法です。



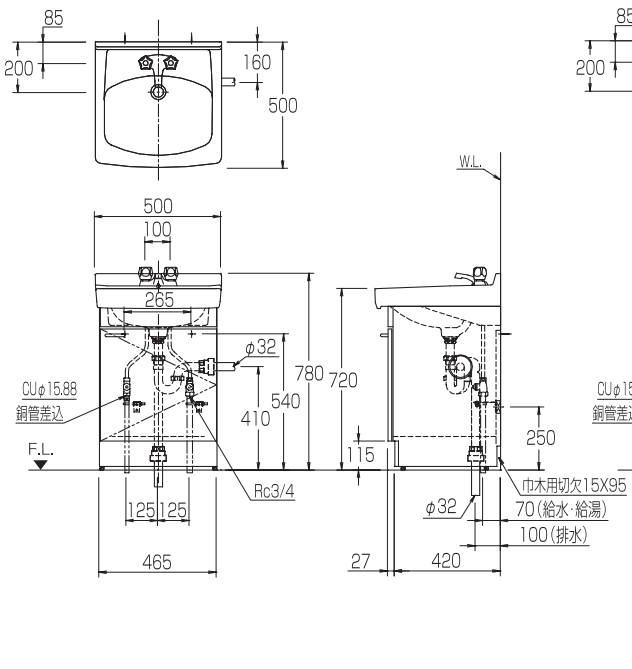
LBFTシリーズ(洗髪シャワー水栓の場合)

※図はLBFT-755S
給排水位置はLBFT-605Sも同じ位置です。
※< >は間口600mmの場合の寸法です。



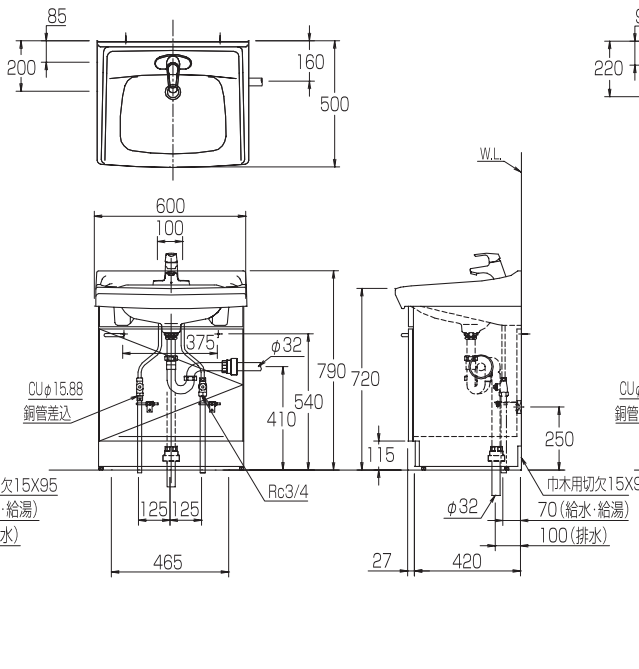
LBEシリーズ（間口500mm）

※図はLBE-500
給排水位置はLBE-502･503も同じ位置です。



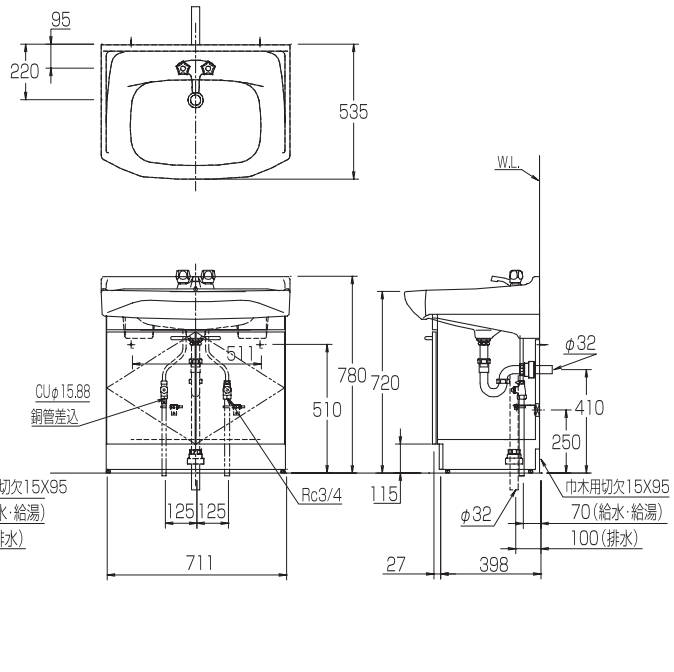
LBEシリーズ（間口600mm）

※図はLBE-604
給排水位置はLBE-600･602･603も同じ位置です。



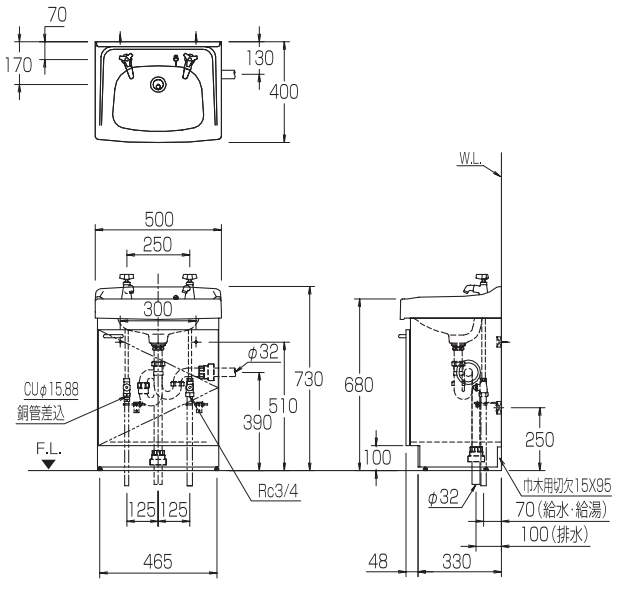
LBEシリーズ（間口750mm）

※図はLBE-754
給排水位置はLBE-750も同じ位置です。



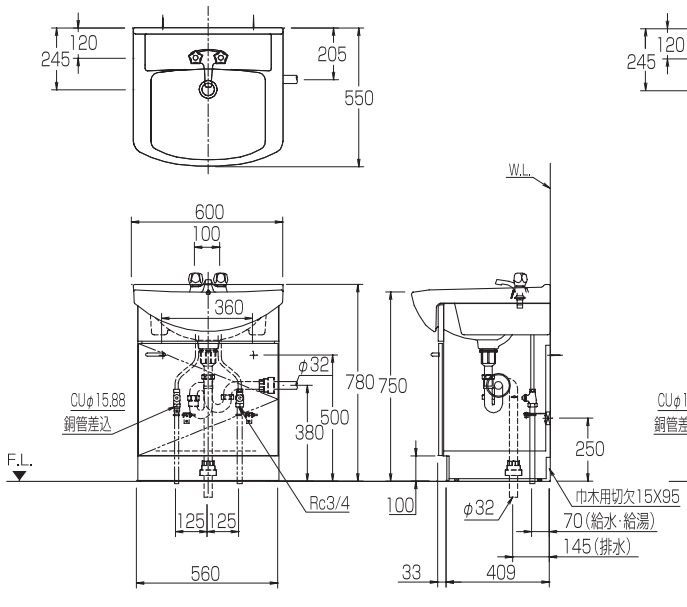
LBPシリーズ（間口500mm）

※図はLBP-502
給排水位置はLBP-503も同じ位置です。



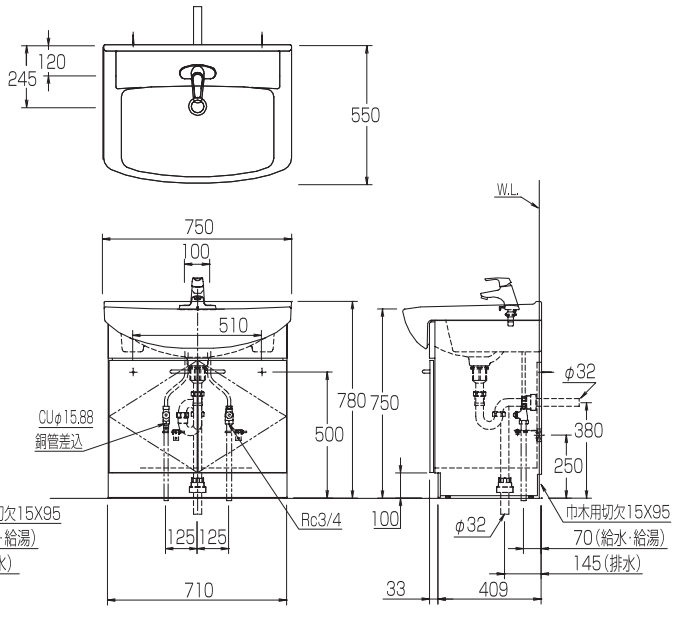
LBFAシリーズ（間口600mm）

※図はLBFA-600
給排水位置はLBE-754も同じ位置です。



LBFAシリーズ（間口750mm）

※図はLBFA-754
給排水位置はLBE-750も同じ位置です。



4. 取付前の確認

1. 給水、給湯の確認
給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

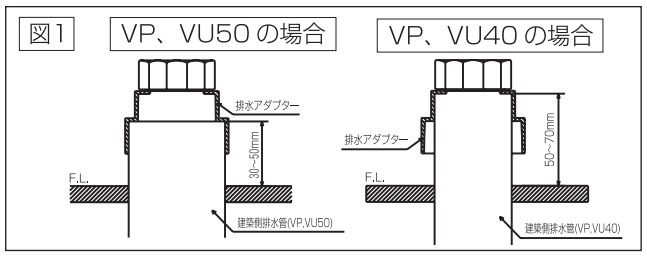
2. 配管工事の確認
給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

⚠ 注意

湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●床排水は 図1 のとおり取り出してください。

図1

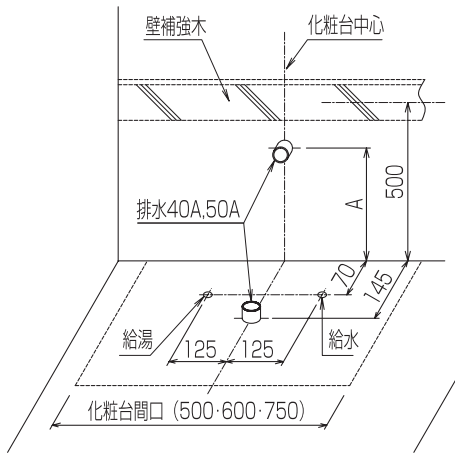


⚠ 注意

建築側排水（VPVU管）は必ず指定の取出寸法範囲内で取り出してください。
※取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

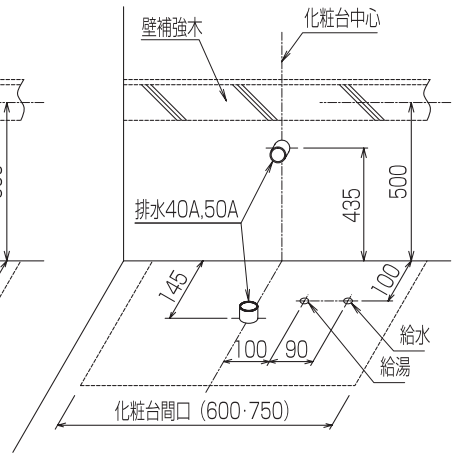
LBFC・LBFTシリーズ

●洗髪シャワー水栓以外の場合
LBFC-504･500･503
LBFT-604･600･754･700

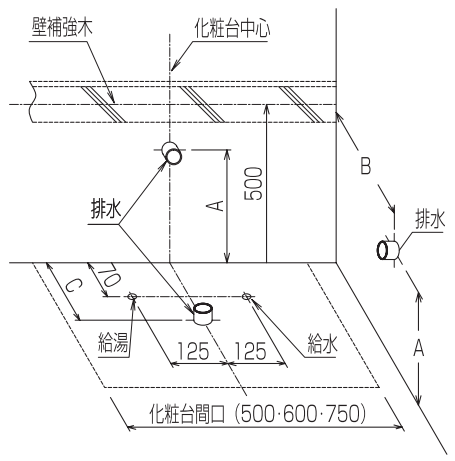


A寸法	化粧台間口500	445
	化粧台間口600･750	435

●洗髪シャワー水栓の場合
LBFT-605S･755S



LBE・LBFA・LBPシリーズ



	LBE	LBFA	LBP
A	410	380	390
B	160	205	130
C	100	145	100

3. 壁面工事の確認

⚠ 警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。

壁の不陸が5mm/2mを越える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。

壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

乾式壁の場合
- ●幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」（2ページ寸法図参照）に必ず設けてください。
- ●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度（図2乾式壁参照）と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- ●壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
- ●壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
- ●石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店様に位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
- ●リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

湿式壁の場合
- ●コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
- ●AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
- ●壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

キャビネットを取付可能な壁面

図2 乾式壁

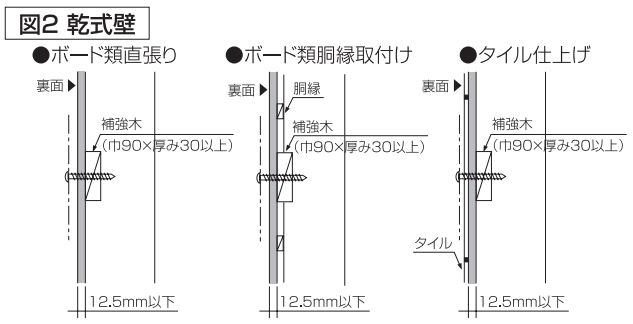
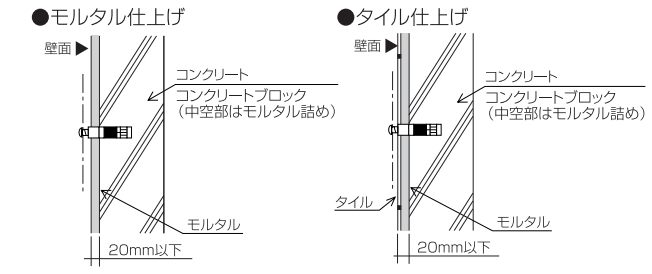


図3 湿式壁



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。
湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。
●AYボルト（φ4×60mm2本入り、別途手配品）
ワッシャー付AYボルト:#KB-4X60WT（AY）
AYボルト（ワッシャーなし）:#KB-4X60T（AY）
※AYボルトの取付穴は、穴径7.5mm、穴深さ60mm以上です。

〈湿式壁の場合の取付方法〉
①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

4. 床面の確認
- ●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
- ●床面は強固でグラつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがグラついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い
浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

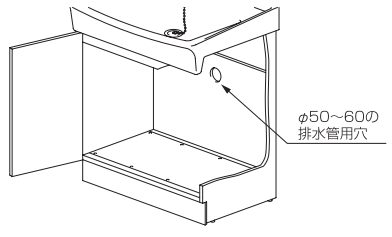
5. 化粧台の取付け

① ベースキャビネットの給水管・排水管穴あけ

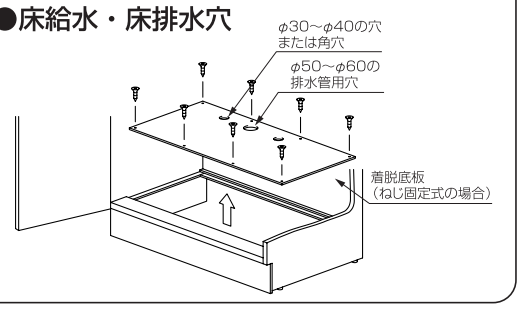
「4.取付前の確認」にて指示した給水・給湯および排水の位置から、配管を化粧台に引き込むための穴を化粧台背板・床板にカッターナイフなどであけます。（現場の配管位置に合わせてあけてください）
※底板着脱式の場合は底板（ねじ止め式の場合はねじを外してから）を取り出し、穴あけをしてください。

〈穴径〉排水管用：φ50～60mm、給水・給湯管用：φ30～40mm

●壁排水穴



●床給水・床排水穴



❷ 水栓本体の取付け

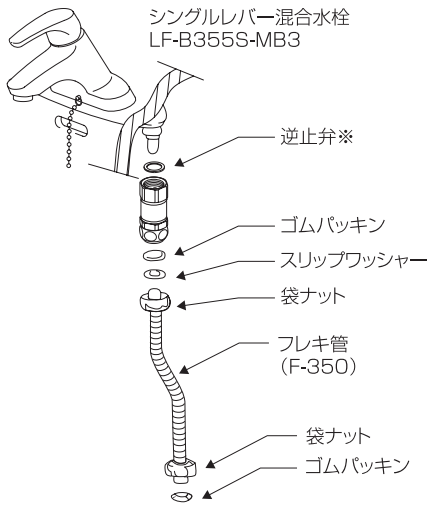
■水栓金具本体の取付け

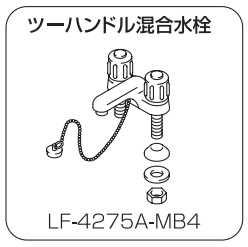
水栓金具を化粧台本体に取り付けます。
取付方法は水栓金具に付属の説明書をご覧ください。

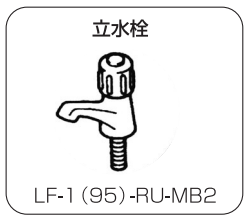
■フレキ管の取付け

（LF-B355S-MB3、LF-4275A-MB4、LF-1（95）-RU-MB2の場合）
洗面化粧台に同梱されているフレキ管をゴムパッキン、スリップワッシャーを介して水栓金具に接続します。

※逆止弁が同梱されている場合は、水栓本体脚に逆止弁を取り付けてください。

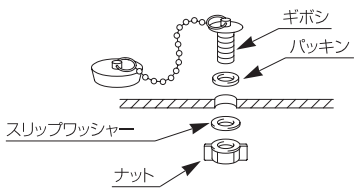






■鎖付ゴム栓の取付け

（立水栓:LF-1（95）-RU-MB2の場合のみ）
洗面化粧台の水栓取付面に、鎖付ゴム栓を取り付けます。
ギボシ用穴にギボシを入れ、裏からナットを手で締め付けます。

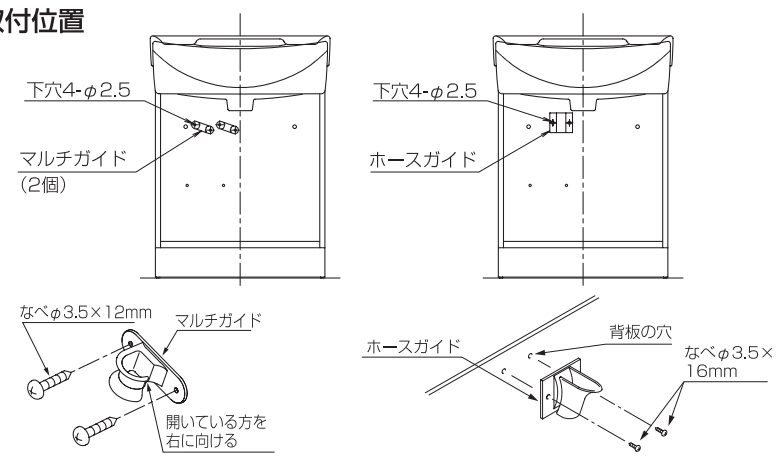


ホース収納式洗髪シャワー水栓の場合のみ

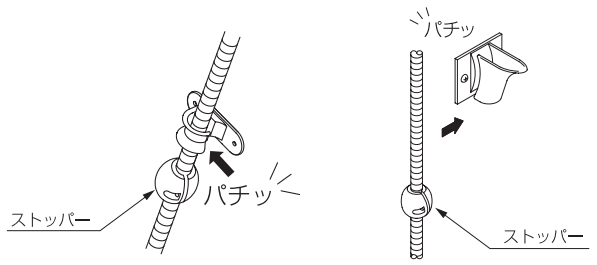
■マルチガイド・シャワーホースガイドの取付け

①背板の下穴に付属のねじ（なべφ3.5×16mm）で、
マルチガイド(2個）またはホースガイド（1個）を取り付けます。
※マルチガイドは開いている方を右に向けて取り付けてください。

●取付位置

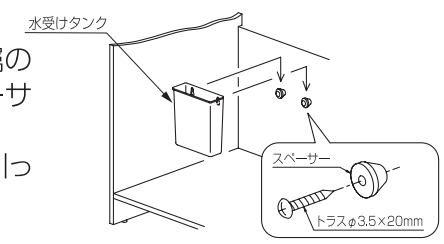


②水栓金具付属のストッパーをシャワーホースの赤いテープ位置に取り付けます。
③ガイドにシャワーホースをパチッと音がするまで押し込み、引っ掛けます。



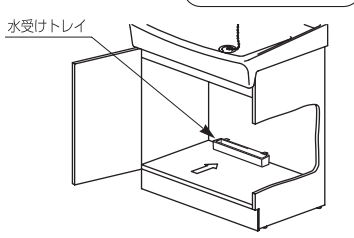
■水受けタンクの取付け

①背板の下穴2ヶ所に、水受けタンク付属のねじ（トラスφ3.5×20mm）でスペーサーを取り付けます。
②水受けタンクの穴をスペーサーにを引っ掛けて背板に取り付けます。



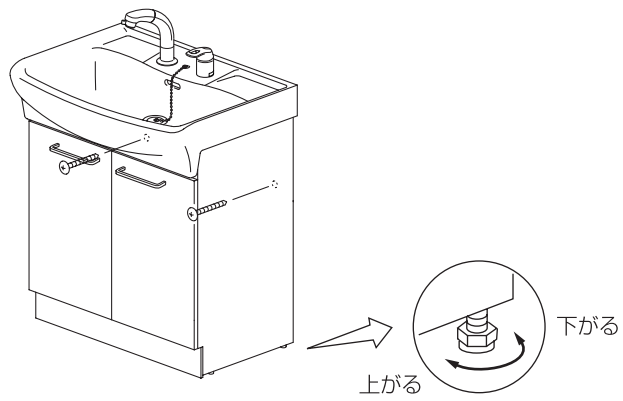
■水受けトレイの設置

水受けトレイをホースの下方に設置します。
キャビネット背板の取付穴に水受けトレイのツメを差し込みます。



❸ 洗面化粧台の壁固定

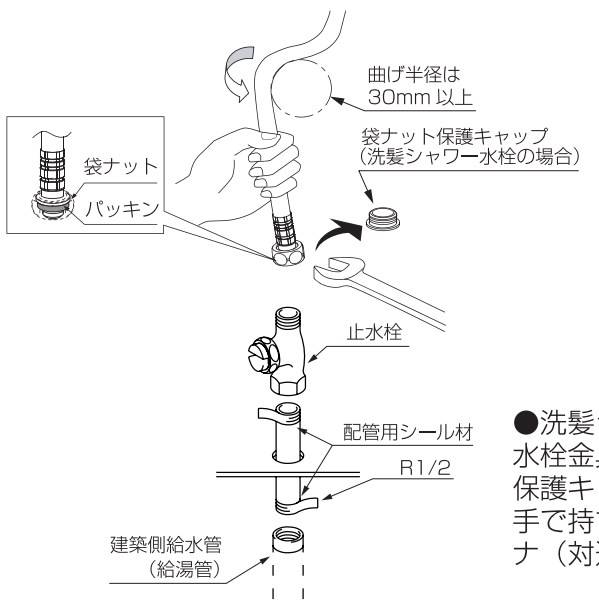
①側板下のアジャスターを調整し、水準器で確認しながら水平を出します。
②化粧台を壁に固定します。
・乾式壁の場合は、付属のねじ（座金付なべφ6.0×50mm）を使用します。
・湿式壁の場合は、別途手配のAYボルトKB-4×60WT（AY）をご使用ください。詳しくは2ページ〈乾式壁の取付方法〉を参照ください。



❹ 止水栓の取付け

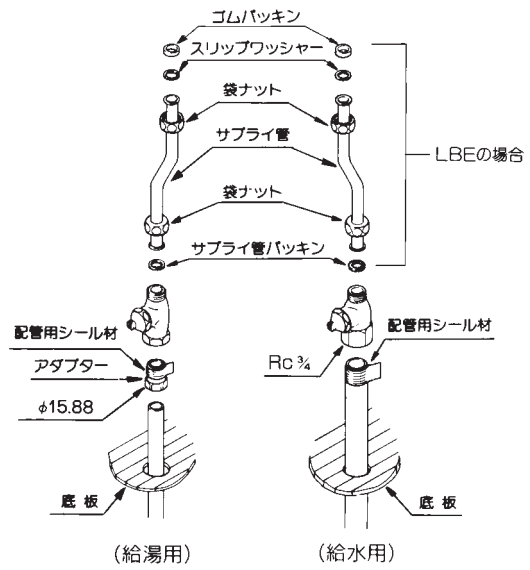
止水栓はメンテナンス・流量調整に必要なため、必ず取り付けてください。

LBFC・LBFT・LBPTシリーズの場合



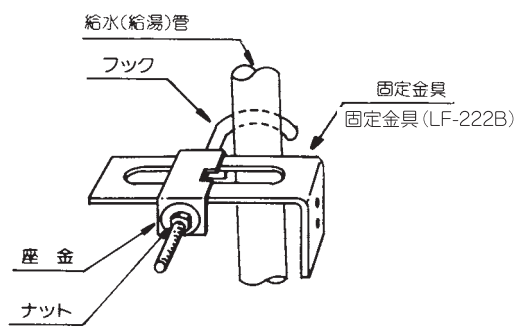
●洗髪シャワー水栓の場合
水栓金具の給水・給湯ホースの保護キャップを外し、ホースを手で持ちながら、止水栓にスパナ（対辺23）などで接続します。

LBE・LBFAシリーズの場合



■給水（給湯）管の固定方法（給水（給湯）管の固定が必要な場合のみ）

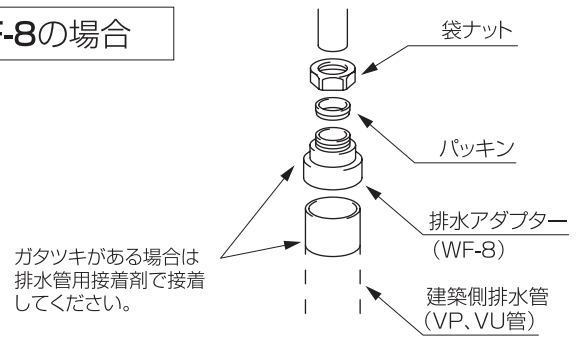
固定金具（LF-222B）を裏板に木ねじ（同送部品）で取り付け、フックを使用し給水（給湯）管を固定します。



※固定金具は化粧台の裏面の補強木にネジ固定してください。
補強木の位置、有無をご確認ください。

❺ 排水アダプターの取付け

WF-8の場合

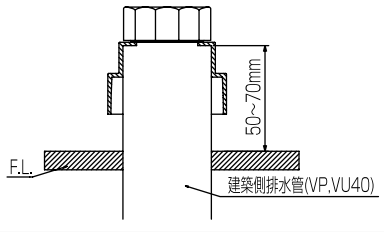


①建築側排水管に排水アダプターを接着して固定します。
②排水プレートを排水トラップに差し込み、排水アダプター上部に差し込みます。
※排水アダプターの上部の袋ナットをしっかりと締めてください。
排水トラップのガタつきや、臭気もれの原因になります。
※アダプターと建築側排水管の間にすき間やガタツキがあるときは、コーキング剤でシール接着してください。
※建築側排水管の周囲の汚れや湿気は十分に取り除いて接着してください。
●壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。

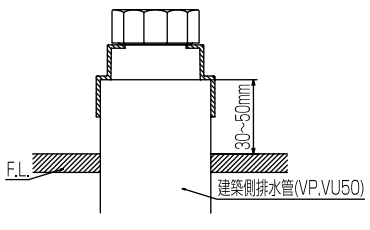
⚠ 注意

●配管の接着は接着面全面に塩ビ用接着剤を十分に塗り、奥までしっかり差し込んで接着してください。
耐熱塩ビ用接着剤は使用しないでください。
※漏水し家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
●建築側排水管VP、VU管の立上寸法が足りないと接着できなくなります。

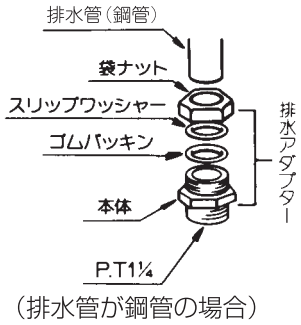
VP,VU40の場合



VP,VU50の場合

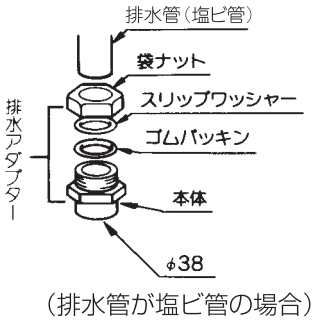


LF-222N、LF-4N の場合



(排水管が鋼管の場合)

LF-222NP の場合



(排水管が塩ビ管の場合)

❻ 排水トラップの取付け

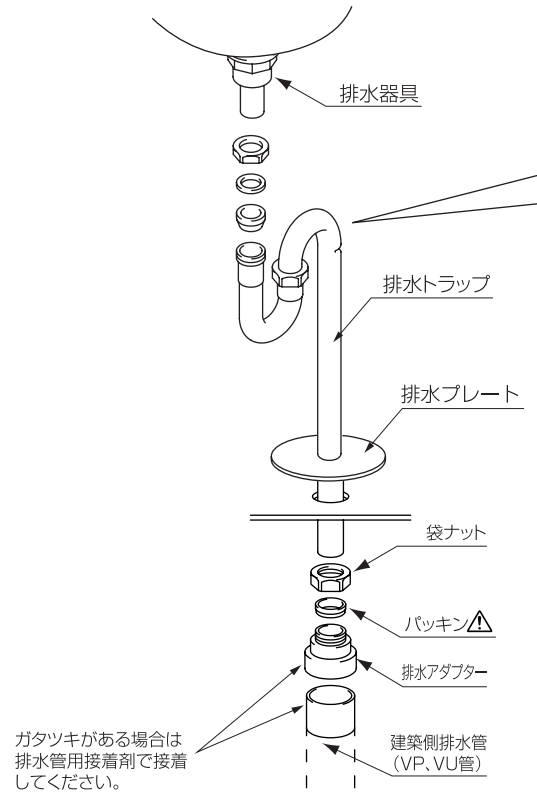
■排水トラップ取付前の確認

排水器具はあらかじめ化粧台に取り付けてあります。
排水器具の袋ナットがゆるんでいる場合は、4~5N·mで締め付けてください。

■排水トラップの取付け

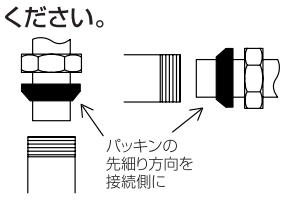
排水プレートを排水トラップに差し込んでから、排水トラップを排水アダプターに差し込みます。

※排水アダプター上部の袋ナットはしっかり締め付けてください。
排水トラップのガタツキや、臭気漏れの原因となります。

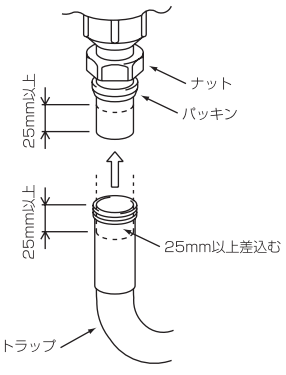


⚠ 注意

パッキンの向きに注意してください。



トラップの接続部は必ず25mm以上差し込んでください。



⚠ 注意

●ナット類は手でしっかりと締め付けてください。
※締付けトルクの目安は3.5N·mです。
※締付けが不十分だと漏水を引き起こす恐れがあります。
●袋ナットは工具等で強く締めすぎないでください。
※排水口部が破損し、漏水を引き起こす恐れがあります。
●給水管などトラップへの干渉物がないか確認してください。
※干渉していると、接続部が外れて漏水を引き起こす恐れがあります。

6. 取付後の確認

❶ キャビネット本体の確認

①キャビネットの取付ねじが十分に締まっていること、ゆるみがないことを確認します。
②キャビネット自体にガタつき、壁とキャビネットにすき間がないことを確認します。
③ねじのゆるみ、キャビネットのガタつきがある場合は、必ずねじ位置をかえて取り付け直します。
④扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

❷ 吐出量、排水量の確認

①洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、水栓から水・湯を出します。洗面器から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側・湯側の止水栓を開閉して流量を調節します。
不用意に全開した場合の飛散を予防するため、全開時、オーバーフローまでの時間が下表の流量になるように湯水の止水栓を調節してください。

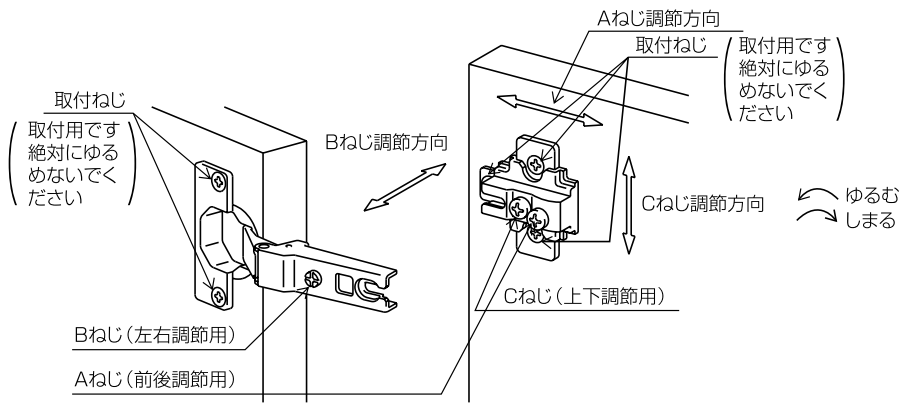
サイズ	立水栓：5.0L/分	シャワー水栓：6.5L/分	左記以外：8L/分
500	1分50秒程	1分20秒程	1分10秒程
600	2分25秒程	1分50秒程	1分30秒程
750	3分25秒程	2分35秒程	2分10秒程

②水栓金具の吐水口（ストレーナー）にゴミなどが詰まると、吐出が乱れたり、吐出量が少なくなる場合があります。水栓金具同梱の説明書に従い、ストレーナー掃除を行ってください。

7. 扉の調節

■スライド蝶番の場合

❶ 扉の調節

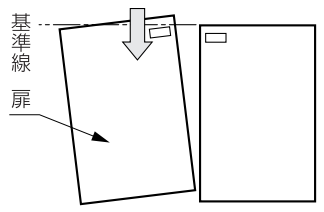


⚠ 注意

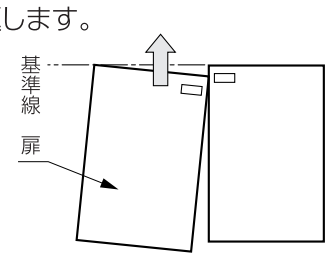
調節後は必ず、全てのねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

アドバイス
- **Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。**
- **2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。**

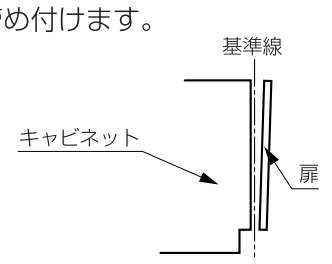
●扉の先端が上がっているとき
①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



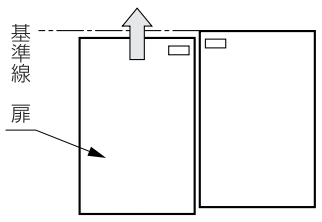
●扉の先端が下がっているとき
①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



●扉と側板のすき間が上下異なるとき
①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

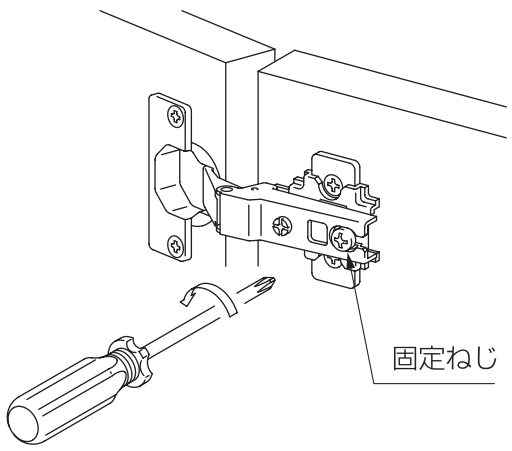


●扉の位置が上下異なるとき
①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。

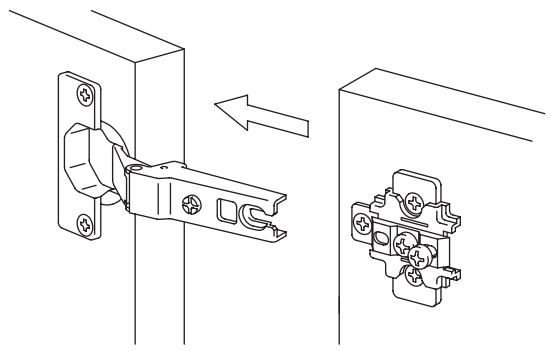


❷ 扉の取外方法

(1) 固定ねじをドライバーでゆるめます。



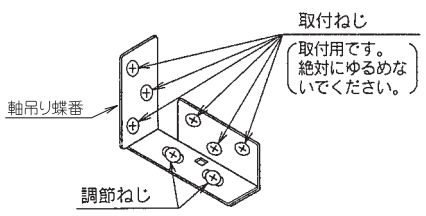
(2) 扉を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



■軸吊り蝶番の場合

⚠ 注意

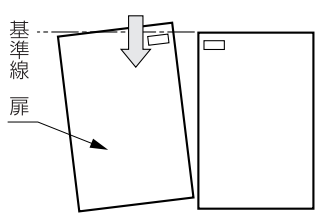
調節後は必ずすべてのねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。



●各ねじの調節量…左右方向に 5 ～ 6mm

ワンポイント
- **2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。**

●扉の先端が上がっているとき
①扉下方の蝶番の調節ねじ2本を左へ回してゆるめます。または扉上方の蝶番の調節ねじ2本を左へ回してゆるめます。
②扉を正しい位置にして、調節ねじを右に回して締め付けます。
③扉を閉めて確認します。
④正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



●扉の先端が下がっているとき
①扉下方の蝶番の調節ねじ2本を左へ回してゆるめます。または扉上方の蝶番の調節ねじ2本を左へ回してゆるめます。
②扉を正しい位置にして、調節ねじを右に回して締め付けます。
③扉を閉めて確認します。
④正しい位置になるまで①、②を繰り返します。